

平成22年8月4日

各 位

兵庫県西宮市甲子園口六丁目1番45号
極東開発工業株式会社
代表取締役社長最高執行責任者 筆谷 高明
(コード:7226 東証・大証 市場第一部)
お問合せ先
取締役執行役員管理本部長 高島 義典
TEL(0798)66-1500

生産拠点の集約に関するお知らせ

当社は、グループの業績改善を図るため、九州地区の生産拠点を現在の2拠点から1拠点に集約し、連結子会社である日本トレクス株式会社が九州トレクス株式会社を吸収合併することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 目的

当社グループは、特装車事業の業績改善を図るため、生産合理化や固定費の圧縮等にグループ一丸となって取り組む中、生産体制の見直しやグループ会社のスリム化も積極的に推進しており、平成21年10月1日には八戸工場(青森県八戸市)を閉鎖いたしました。しかし、国内トラック市場の低迷は今後も続く見通しであり、当面は回復が期待できない状況にあります。

このような中、現在の市場規模でも利益を確保できる企業体質にするためには、更に生産体制の再編を図ることが必要であると判断し、九州地区の生産拠点の集約として、平成23年1月1日付で、当社連結子会社である日本トレクス株式会社(愛知県豊川市)を存続会社、九州トレクス株式会社(日本トレクス株式会社の100%子会社。福岡県北九州市)を消滅会社として吸収合併を行うことといたしました。これにより国内生産体制は、現在の7拠点から6拠点となります。なお、九州トレクスでは、主に九州地区向けにウイング型トラックボデー、バン型トラックボデー、トレーラの生産を行ってまいりましたが、これらの業務は、日本トレクスならびに当社の福岡工場(福岡県飯塚市)へ移管することといたします。

今回の生産体制の再編により、業績の改善に努めてまいります。

2. 再編の概要

(1)スケジュール

平成22年12月末を目途に九州トレクス株式会社での生産をストップし、平成23年1月1日付で当社連結子会社である日本トレクス株式会社を存続会社、九州トレクス株式会社を消滅会社として吸収合併を行い、同日付で新しい生産体制をスタートさせます。

(2)人員体制

九州トレクスの従業員につきましては、日本トレクスへの異動を予定しております。

(3)生産体制

九州トレクスの生産業務につきましては、日本トレクスならびに当社福岡工場への移管を予定しております。

(4)その他

九州トレクスの既存の生産設備等の資産につきましては、グループ内での再配置や売却、賃貸等により有効活用を図ります。

3. 合併する連結子会社の概要

	存続会社	消滅会社
商号	日本トレクス株式会社	九州トレクス株式会社
所在地	愛知県豊川市伊奈町南山新田 350 番地	福岡県北九州市門司区新門司 2-14-1
代表者	西川 柳一郎	池田 信行
主な事業内容	トレーラ、ウイング型トラックボデー、バン型トラックボデーの製造、販売	トレーラ、ウイング型トラックボデー、バン型トラックボデーの製造、販売
設立年月日	昭和 39 年 8 月 1 日	昭和 56 年 12 月 1 日
決算期	3 月	3 月
資本金	2,011 百万円	100 百万円
株主構成	極東開発工業株式会社 100%	日本トレクス株式会社 100%
売上高(平成 22 年 3 月期)	16,985 百万円	413 百万円
当期純利益(平成 22 年 3 月期)	△ 549 百万円	△ 11 百万円
総資産 (平成 22 年 3 月 31 日現在)	20,132 百万円	763 百万円
純資産 (平成 22 年 3 月 31 日現在)	6,059 百万円	△422 百万円

4. 業績に与える影響

当社の連結業績に与える影響は軽微であり、既に公表している業績の見通しに変更はありません。

以 上